



# 学級集団づくり これからは!

岡山市教育委員会事務局  
学校教育 部 指 導 課

岡山市教育研究研修センター

教師には、的確な児童生徒理解のもと、児童生徒が自他の良さを認め合える学級集団づくりを進めることが求められます。

## こんな学級集団づくりをめざそう!

居場所  
づくり

Step1

だれもが  
安心して  
生活できる  
クラス

- 生活や学習のルールがある
- 安心して登校できる



Step2

だれもが  
活躍できる  
クラス

- 自分の役割がある
- 自分らしさや良さを表現できる
- 自分から挑戦できる



Step3

だれもが  
つながる  
クラス

- 自他の違いを認め合える
- 共に成長できる
- 仲間との絆を感じることができる



絆  
づくり



そのために

## 教師の働きかけを工夫しよう!

だれもが安心して生活できる  
環境づくり

- ★だれもが気持ちよく、安心して過ごせる生活・学習規律の浸透
- ★教師の姿
  - ▷児童生徒に公平に接する
  - ▷丁寧な言葉遣い
  - ▷一人一人の意見を傾聴し、違いを大切に受け止める等
- ★合言葉やキャッチフレーズをわかりやすく掲示し、大切にしたい価値観を共有

だれもが活躍できる  
生活・学習活動づくり

- ★一人一人が良さを発揮できる役割や場づくり(係・当番・委員会活動等)
- ★主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ★特別支援教育の視点を生かした授業づくり



だれもがつながる  
人間関係づくり

- ★ASSESSやi-checkを活用した個人や学級の特性理解に基づく学級経営
  - ▷一人一人の課題に応じた支援やサポート
  - ▷孤立化や排他的なグループ化への早期の支援
  - ▷いじめの芽や差別の根を見逃さない
  - ▷グループ活動や互いの良さを認め合える場を意図的に設定する

# ◆確かな児童生徒理解に基づいた支援をしよう！

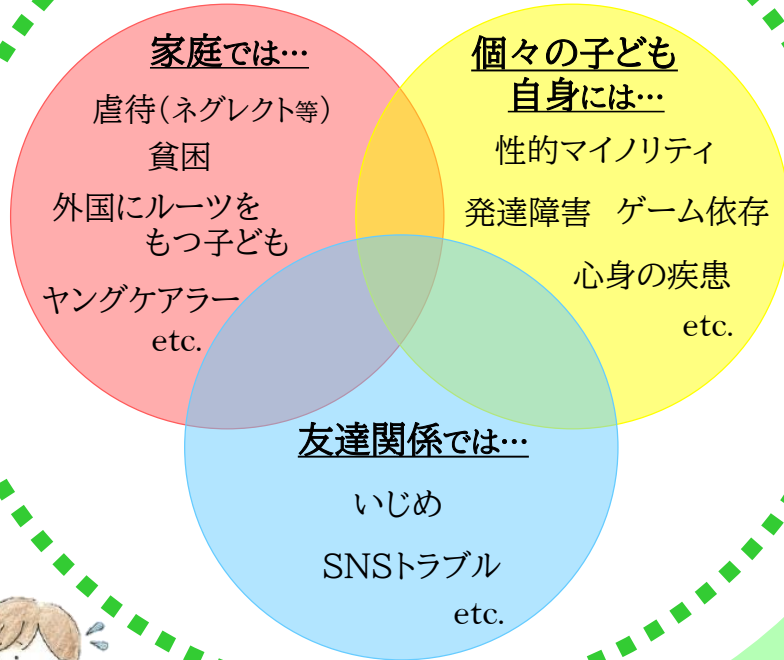
学級には多様な背景をもつ児童生徒が在籍しています。日ごろから、児童生徒の多様な背景を捉える働きかけを行い、適切な支援につなげていきましょう。

## 児童生徒を進んで観ていますか？

表面的な児童生徒の言動ではなく、何がそのような発言・行動をさせるのか？  
一人一人の言動の背景や根底にある“困り”  
の本質を捉えるようにしましょう。



## 多様な背景をもつ 学級の児童生徒



## チームで支援しよう！

児童生徒理解をもとに、児童生徒一人一人の“困り”や“発達課題”に寄り添いながら効果的な支援を見極め、実行しましょう。

一人で抱え込まず、『報告・連絡・相談をする』  
『常にチームで対応する』ことを大切にして、  
互いに支え合いきましょう。

<参照>

「人権教育の指導方法等の在り方について」 [第三次とりまとめ]  
文部科学省